

2022.12.27

日本文化を英語で発信プロジェクト第7弾

「年賀状文化」を英語で学ぶオンラインセミナーを開催しました。

開催日：2022年12月10日（土） 14:00～14:40

開催場所：オンライン(Zoom)開催

日本の文化を英語で再発見し、世界へ伝えることを目的としたプロジェクト「日本文化を英語で発信プロジェクト」の第7弾を開催しました。

日本文化への関心が世界中で高まる中、本プロジェクトでは日本人でもあまり知らない日本文化に焦点を当て、英語で掘り下げていくセミナーです。第7弾は、年賀状印刷事業を運営するフタバ株式会社にご協力いただき、古くから日本の習慣として伝わる「年賀状文化」について取り上げました。年賀状文化にまつわるクイズや年賀状の歴史を英語で紹介、さらに海外の方へ年賀状について説明する際の英語フレーズを練習しました。英語表現だけでなく、日本独自の文化を海外へ伝えるためのポイントを学べるオンラインセミナーとなりました。



【セミナー内容】

①「年賀状クイズ」

まずは、年賀状にまつわるクイズを出題。参加者の皆さんに解答していただきました。質問によっては解答が割れ、参加者の皆さんにとって意外な答えだったものもあったようです。

-----《クイズ例》-----

「Q.海外に年賀状を送りたい場合、通常の料金にプラスしていくら追加料金が必要でしょうか？」

→「A.7円」

会場からは意外に料金がかからない事に、驚きの声も。
海外に住んでる友人や家族にも気軽に年賀状が送れますね♪

②「年賀状文化ミニ講座」

ミニ講座では年賀状の始まり、年賀郵便制度の発足、お年玉付年賀はがきの誕生などを、英会話イーオンインストラクターのJohnny先生が英語で紹介しました。英語表現だけでなく、大切にしたい日本の年賀状文化を海外へ伝える際にポイントとなる内容を学べる講座となりました。

③「ミニ英会話レッスン "May I help you?"」

ミニ英会話レッスンでは、外国人が疑問に思っている事を説明する際に役立つ英単語やフレーズなどを、例文とともにご紹介しました。実際にセミナーに参加している皆様から、様々な回答がチャットに寄せられ、会場も盛り上がりました。

-----《表現例》-----

annual ～年に一度の、**will be announced**～ ～が発表される

◆Johnny先生の後に続いて、レポート練習をしました！◆

That number is your free entry for an **annual** lottery. .
(それは、年に一度の抽選に無料で参加できる番号だよ。)

The winning numbers **will be announced** in mid-January.
(当選番号は1月半ばに発表になるんだ。)

3. 海外に年賀状を送りたい場合、通常の料金にプラスしていくら追加料金が必要でしょうか？

【正解】 7円

You can send New Year's greeting cards to overseas addresses for 70 yen, equivalent to the standard 63 yen for domestic postage plus a surcharge of 7 yen. The front side should be written as follows.

(1) Write the name and address of the sender and the name and address of the recipient as shown in the illustration.

(2) Write "POST CARD" in large letters at the top and "AIR MAIL" at the bottom.

日本国内に送る料金63円に7円をプラスした70円で、海外に年賀状を送ることができます。表面はこんな風に書きます。
(1)差出人住所氏名、宛先住所氏名を図のように書く、(2)大きく上部に「POST CARD」、下部に「AIR MAIL」と書く

4.The Introduction of New Year's Greeting Postcards with Lottery Numbers and the Continued Surge of New Year's Mail (お年玉付き年賀はがきの誕生と増え続ける年賀郵便)

In 1949, the now commonplace "New Year's greeting postcard with lottery numbers" was born. The idea came from a private citizen living in Kyoto, who thought that if New Year's greeting postcards were revived as they had been before the war, people would be able to keep in touch with each other, and it would be a chance to recover from their post-war depression.

1949（昭和24）年、今では当たり前になっている「お年玉付き年賀はがき」が誕生したのです。これは、京都在住の民間人が思いついたアイデアで、「年賀状が戦前のように復活すれば、お互いの消息もわかり、うちひしがれた気分から立ち直るきっかけとなる」との考えから生まれました。

「お年玉付き年賀はがき」とポスター
出典：年賀状博物館

★日本語字幕があるので、英語初級者でも安心です。

Listen

There is a strange number at the bottom. What does it mean? 見たことのない番号があるけど、これはなに？

英語で教えてあげましょう。チャットで回答をお寄せください！

↓ (A)1234組 ↓ (B)56789

★明日からすぐ使える！知っていたら役立つ年賀状について伝える時に使える表現をご紹介

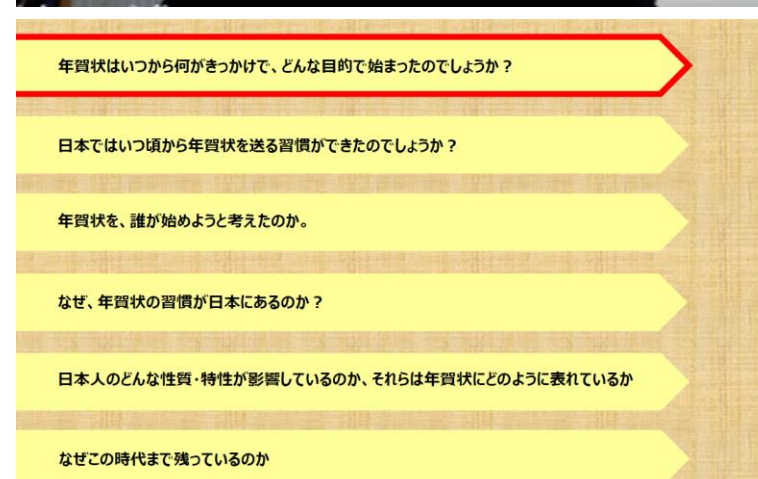
⑤ 質疑応答

質疑応答では事前に参加者から寄せられた質問に、フタバ株式会社 常務取締役 市川 宗一郎氏にお答えいただきました。

その中でも1番多かった質問は、年賀状はいつから何がきっかけで、どんな目的で始まったのかに関する質問でした。

市川氏は、質問に対し、「明治時代に、現在の郵便制度が出来た事がきっかけ。その後、第二次世界大戦を機に一時中断となったが、戦後、安否確認の意味もあり、また大きく年賀状が広がっていった。」とお話されました。質疑応答の最後、ナビゲーターの伊藤からの「なぜ今この時代まで年賀状文化は残っているのか。」という質問には、「新年の挨拶を手軽に出来るツールとして便利なので、今も受け継がれているのではないか」とお答えいただきました。

その他、「海外にも、日本の年賀状と似たような文化はあるのでしょうか?」「日本の年賀状文化は、海外から見るとどのような印象があるのでしょうか?」など、様々な質問が寄せられました。市川氏は最後に、皆さんに今後も年賀状を気軽に出して欲しいという思いがあり、年賀状を選ぶ楽しみもつけて欲しいとお話ししてくださいました。



他にもこんなセミナーがあります！

イーオンで、大好評の音読トレーニングが学べるセミナーを開催しています！
効果的な学習法を求めている方、必見！
英語力アップのヒントが必ず見つかります♪

ご興味のある方は下記URLより、最新情報をご確認ください。

[【https://aeonconnect.jp/】](https://aeonconnect.jp/)

【イーオンについて】

イーオンは1973年に創業以来、語学教育を通じた世界で通用する人材育成を目指しています。英語上達のためにオリジナル教材を開発し、指導力と人柄ともに優れた日本人教師と外国人教師を採用。それぞれの強みを活かした効果的なレッスンで、学習者が苦手を克服しながらコミュニケーション力を高め、日常英会話やビジネスで使える英語力の習得、また資格取得に関してもサポートを行っています。2018年からはKDDIグループの一員となり、イーオンの持つ英語教育のノウハウと、KDDIグループの持つ情報通信技術を掛け合わせたEdTechを推進し、サービス提供に取り組んでいます。

イーオンでは、「Learning(知識を学ぶこと)」と「Acquisition(実践トレーニング)」のバランスを重視し、両方を組み合わせた「L&Aメソッド®」(*)という独自の教授法でレッスンを提供しています。さらには「英語を学ぶ」ことにとどまらず、「英語を使って何かを学ぶ」ことによる総合的なコミュニケーション能力向上も重要視しており、幅広い内容の英語学習セミナー・イベントを企画しています。

イーオンでは、安心して英語を学んでいただくために、新型コロナウイルス感染拡大防止を最大限整えた環境を提供します。

◆イーオン公式HP: <https://www.aeonet.co.jp>

本件に関するお問い合わせ

インフォメーションセンター: **0800-111-1111**
(月～金: 12時～18時)